

チャレンジ工房News

第 21 号

平成 24 年 12 月 発行

発行先 パソコン工房チャレンジ

編集責任者 曲 圭子

工房の日々 ～ それぞれの研修風景 ～

① 年賀状作成

今年も数名の所員さんが先月中旬頃から来年の各自の年賀状作りに取り組まれています。

来年は「へび年」ということもあり、デザイン的にはなかなか難しいようですが、工房で研修用教材として 2013 年の年賀状素材集を 2 冊購入し、その素材集の中から個々が気に入った年賀状のテンプレートやイラストのデザインを Word に取り入れ、ワードアートやテキストボックスなどの技法を使い、みなさん思い思いのデザインに編集されています。

一人の所員さんは、年賀状の背景画像だけ素材集から取り入れて、新年の挨拶などの文章は、ワードアートやテキストボックスの使い、好みの文字色や書体にしたり、好みの位置に言葉や文章を配列させたり、背景画像の明るさや濃さを調節したりして、かなり凝ったオリジナルなデザインの年賀状を何枚も作られています。

今年賀状作りに取り組まれている所員さんのたいていは、まだ一度も工賃仕事に関わったことない所員さんたちばかりなので、今後新たに年賀状の注文を受けたら是非工賃仕事としてお願いしていきたいと思っています。

② パソコン検定試験

現在工房では、所員さんに Word・Excel の基礎知識はもちろん、パソコンの全体の基礎知識を深めてもらう目的で、パソコン検定の 3 級・4 級のテキストを用意しています。

パソコン検定 3・4 級の試験内容はタイピングやパソコン・OS 全体の基礎知識、Word・Excel の基礎程度の実技試験ですが私も含め、手が不自由な者はタイピングなどの「指定された時間内で指定された文字数を入力すること」は苦手で、今パソコン検定 3 級の勉強している B さんも何回も無料の模擬試験に挑戦した上で、「パソコンや OS の基礎知識や word・Excel の実技試験は、もう少し勉強したら何とかかなと思うけど、タイピングの試験が、どうしても入力速度が間に合わずに、合格点に充たされなくて無理かも・・・」と近い将来の就職のために、「パソコン検定 3 級」の試験を受けるか、かなり戸惑っていました。

5 月頃に実際、パソコン検定 3 級の試験を受けて合格された C さんから、「試験当日、身分証明として障害者手帳を持って行けば、タイピングが出来ない人の場合はタイピングの試験だけ免除してくれるよ」と聞き、B さん自身も「苦手とするタイピングの試験を免除して貰えるのなら…」と少しパソコン検定試験を受けることへの手ごたえを感じたようで、それ以降、「パソコン検定 3 級合格」を目標に、工房でも家でも模擬試験問題集とかのデータをダウンロードして、コツコツ勉強されています。

私自身も手が不自由なので、タイピング試験の問題でパソコン検定試験を受けること自体、諦めかけていたが、私も所員に負けずに「パソコン検定準 2 級程度」からチャレンジしていこうと思っている今日この頃です。



12 月・1 月の日程

12/25(火) クリスマス会・仕事納め

12:00～15:00

参加費 300 円

※当日は、ケーキや軽食を囲みながらカラオケを楽しむ予定です。

12/26(水) ～ 1/6(日) 冬期休暇

※年明けは、1/7(月)より開所します。

1/17(木) 大庄地区防災訓練

予定:

1 月中旬頃ふれあい野菜市



完売御礼 東北の障害者作業所の物品

先月の10日に市役所近隣の橘公園噴水広場で「市民福祉の集い」が開催され、10月の「市民祭り」に引き続き、当工場の運営主体の尼崎障害者センターに協力して、東北の障害者作業所の物品を販売するブースを出店しました。



前回の市民まつりなどでの販売事業の問題点や課題点を活かして、お客さんに、販売している味みそやかりんとう・クッキーの味などについて商品説明を求められたときに答えられるように、試食することが可能な味みそやクッキーなどは事前に当日販売するスタッフで事前に試食をしたり、当日お客さんにも全商品気軽に試食してもらえるようにしたりするなど今回はスタッフで色々対応策を練りながら準備しました。

当日は、かなり肌寒かったものの20団体ほどの市内の障害者作業所や障害者団体がバザーやブースを出展し賑わいをみせていました。

市民福祉の集いに参加していた方の多くは、障害者の家族や障害者事業所などの関係者の人たちばかりだったので、「東北の震災で被災した障害者の作業所をみんなで支え合っていこう」としている思いが通じ合ったのが、「買うことで東北の障害者の支援になるのなら・・・」と一人でかりんとうを何袋も購入して下さった方もおられました。

毎回人気がある味みそやクッキー等の商品は、昼前にはほとんど売り切れ、かりんとうなども閉店まぎわになった頃には、在庫も残りわずかになったほど売れて、約4万円の売り上げがありました。

来年以降も可能な限り、「東北の障害者作業所の物品販売支援事業」は継続していきたいと思っていますので、引き続きご協力のほど、よろしくお願ひします。



わっしょいカーニバルへ参加してきました・・・

大学などの学園祭等で賑わう11月6日に市内の障害者の作業所や地活センターが年に一度、集ってのお祭り「わっしょいカーニバル」が中央公民館でありました。

例年のように、各作業所の工夫を凝らした寸劇や「嵐」の曲に合わせたダンスなどの出し物やビンゴゲームもあり、また今年は、新しく参加した作業所が2つあって去年以上に盛り上がっていました。

当工場は、工房内でも委託を受け販売している防災グッズ「きんきゅうくん」のテーマソングをジョブリング AmaのK氏の作曲・振り付け、くらし倶楽部ひょうごのH氏のギター演奏のもとで簡単な振り付けを交えながら合唱しました。

当日は、残念ながら工房からの参加者は少なく、少人数での合唱になりましたが、せめて場の雰囲気だけでも盛り上げたいという当日参加した所員・スタッフの思いでH氏に鈴やカスタネットなどの打楽器をお借りして、参加できなかった所員の分まで楽器を鳴らしながら楽しく合唱しました。

今年も入賞することができずに残念でしたが、後日K氏から「きんきゅうくんの歌、X事業所のメンバーさんにかなりうけていたみたい」と聞いて、少しでも「きんきゅうくん」のイメージソングを広めるきっかけになったようなので良かったです。



優勝した作業所の出し物の様子